

日本設備工業新聞

発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774 (内)
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikougyo.co.jp
 (購読料郵税共) 年極8,000円



詳しくは弊社カタログ、ホームページをご覧ください。

10年後の建設産業展望

生産性を高め現場力の維持へ

国土交通省は十月十一日、東京・霞が関の法曹会館で第一回「建設産業政策会議」(座長・石原邦夫東京海上日動火災保険(株)相談役)を開催した。有識者や設備工事関係団体などが一堂に集い、建設産業が技術のイノベーションや労働力人口の減少に対応して十年後も生産性を高めながら現場力を維持できるように法制度をはじめとする新たな枠組みについて検討する。議論のポイントを整理したうえで来年六月頃をめどに報告書をまとめる方針だ。

法制度など新たな枠組み検討

建設産業は人口減少・高齢化に伴う将来の担い



石原座長

末松副大臣



国交省の政策会議が初会合

手不足を見据え、地域における担い手の確保・育成に向けた処遇の改善や生産性の向上に取り組んできた。とくに最近では社会保険の加入促進や建設キャリアアップシステムの構築、情報通信技術(ICT)を建設現場に全面的に導入することによって建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を

めざす「iConstruction」などに力を入れている。また昨秋に発生した基礎ぐい工事問題の再発防止策や構造的な課題への取り組みを推進している。一方、既存の分野や枠組みを超えてさまざまなイノベーションが進行しており、建設業でも十年先を見通した場合、ICTなどの技術の進展によって施工のあり方そのものが大きく変化することが予想される。これに伴

い政府全体として生産性革命や働き方改革に向けた検討を始めている。こうした状況を踏まえ、新たに発足した建設産業政策会議では劇的な進化を遂げるAI(人工知能)やIoT(あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス・ビジネスモデルなど)、確実に到来する労働力人口の減少などを正面から受け止め、十年後を見据えて生産性の向上と現場力の維持を図る法制度のあり方などを議論していく。委員には設備工事関係団体から才賀清二郎一般社団法人建設産業専門団体連合会会長や野村春紀一般社団法人日本空調衛生工業協会会長らが名を連ねている。初会合では末松信介国土交通副大臣があいさつに立ち「建設産業を発展させるために発注者と受注者がそれぞれの役割をしっかりと果たすことがきわめて重要だ。海外への

このあと建設産業の現状と課題について検討し、地域を支える中小建設業に期待する役割として地域インフラの整備・維持や災害時の応急対応、地方創生に向けた取り組みなどを確認。また今後の議論のポイントとして①人口減少・高齢化、AIやIoTなどのイノベーションの進展によって十年後の建設市場はどのようなになっているのか②労働力人口の減少を見据え、建設業の担い手確保にどのように取り組むべきか③他産業との比較も踏まえ、建設産業は生産性向上や働き方改革にどのように取り組むべきか④建設業に関連する制度の基本的枠組みをどのように評価し、どう再検討すべきか——などを打ち出した。

科学技術イノベーションを

内閣府 給排水システムなど課題

内閣府は十月四日、東京・港区の品川インター



鶴保特命担当相

シティホールでSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)シンポジウムを開催した。鶴保康介内閣府特命担当相らが出席し、「日本発の科学技術イノベーションが未来を拓く」をテーマに

SIPは内閣府総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)が平成二十六年に創設した国家プログラム。府省や旧来の分野を超えて科学技術イノベーションの実現をめざす。当日は関連企業・団体など約八百名が参加。鶴



SIPシンポジウム開催

保特命担当相が冒頭あいさつに立ち「科学技術の進歩には創造エンジンの活性化が重要な課題となっている。産学官が連携し、オールジャパンで取り組んでいきたい」と訴えた。続いて安西祐一郎独立行政法人日本学術振興会理事長・人工知能技術戦略会議議長が「AI、ビッグデータ、IoTの研究開発とSociety 5.0の実現」と題して

基調講演し、松本英三内閣府審議官がSIPの概要を説明。課題進捗状況では革新的燃焼技術、次世代パワーエレクトロニクス、革新的構造材料、インフラ維持管理・更新・マネジメント技術、レトリエントな防災・減災機能、次世代農林水産業創造技術、革新的設計生産技術などを報告したうえでパネルディスカッションを繰り広げた。

基調講演し、松本英三内閣府審議官がSIPの概要を説明。課題進捗状況では革新的燃焼技術、次世代パワーエレクトロニクス、革新的構造材料、インフラ維持管理・更新・マネジメント技術、レトリエントな防災・減災機能、次世代農林水産業創造技術、革新的設計生産技術などを報告したうえでパネルディスカッションを繰り広げた。

管工機材

管友ネットワーク・グループ

住宅設備機器

安心・安全…おいしい水を提供する

直結給水装置



| | | | | | |
|-----------|--|-----------|--|-----------|--|
| 沖山産機(株) | 墨田区墨田4-61-13 〒131-0031 TEL(03)5247-7131 FAX(03)5247-7133 | (株) 角 産 | 練馬区平和台3-26-15 〒179-0083 TEL(03)3931-0701 FAX(03)3931-0702 | (株) 慶 旺 | 渋谷区初台2-27-7 〒151-0061 TEL(03)3370-6251 FAX(03)3375-3910 |
| // 柏営業所 | 柏市十倉二 348 〒277-0872 TEL(04)7132-6361 FAX(04)7132-9270 | // 東京西営業所 | 練馬区西大泉6-10-2 〒178-0065 TEL(03)5387-5611 FAX(03)5387-5610 | 野村機器(株) | 小平市小川町1-341-2 〒187-0032 TEL(042)342-2211 FAX(042)344-2211 |
| // 小岩営業所 | 江戸川区本一色2-18-7 〒133-0044 TEL(03)3654-8111 FAX(03)3651-1245 | // 足立営業所 | 足立区保木間1-11-2 〒121-0064 TEL(03)5831-0801 FAX(03)5831-0800 | サンコー機材(株) | 昭島市田中町1-36-12 〒196-0014 TEL(042)543-8811 FAX(042)546-5116 |
| // 八丈島営業所 | 八丈島八丈町三根398 〒100-1511 TEL(04996)2-1402 FAX(04996)2-2102 | // 葛飾営業所 | 葛飾区奥戸6-4-12 〒124-0022 TEL(03)5671-0391 FAX(03)5671-0394 | // 昭島支店 | 昭島市田中町1-36-12 〒196-0014 TEL(042)541-3652 FAX(042)546-3536 |
| (株) 岡 本 | 新宿区新宿1-11-15 〒160-0022 TEL(03)3356-4871 FAX(03)3356-4374 | (株) 野村総業 | 杉並区荻窪3-47-15 〒167-0051 TEL(03)3393-2211 FAX(03)3391-4227 | // 西多摩支店 | 羽村市羽加美1-7-1 〒205-0016 TEL(042)554-1151 FAX(042)554-7516 |
| 倉 地 (株) | 墨田区本所1-33-9 〒130-0004 TEL(03)3624-4441 FAX(03)3622-6894 | // 東松山営業所 | 東松山市市六反町15-12 〒355-0023 TEL(0493)23-2921 FAX(0493)23-9216 | // 秋川支店 | あきる野市瀬戸岡425-8 〒197-0803 TEL(042)559-5241 FAX(042)559-5205 |
| // 松戸支店 | 松戸市大橋白幡1108-3 〒270-2224 TEL(047)391-5711 FAX(047)391-5777 | (株) ノ ム ラ | 杉並区荻窪3-47-17 〒167-0051 TEL(03)3391-2211 FAX(03)3392-5616 | // 八王子支店 | 八王子市栢田町223-1 〒193-0942 TEL(042)668-2261 FAX(042)668-2271 |